

令和3年度地方創生関連交付金事業について(地方創生推進交付金事業分)

1. 地方創生推進交付金の活用

<交付金の趣旨>

地域再生計画に記載された、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を、複数年度(概ね5か年度以内)にわたり安定的・継続的に支援するため、創設されたもの。

<対象事業>

- ①先駆性のある取組(官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、地方創生人材の確保・育成)
- ②先駆的・優良事例の横展開(地方創生の深化のすそ野を広げる取組)
- ③地方創生の観点から取り組む未来技術を活用した新たな社会システムづくりの全国的なモデルとなる取組

2. 草津市における「地方創生推進交付金」対象事業

No.	事業名 担当課 計画期間	令和3年度 予算額(円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における事業の位置付け	重要業績評価指標 (KPI)		事業終了後の実績値		実績値を踏まえた事業の今後について		外部有識者からの評価		
						指標	目標値	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見	
1	(1)事業名 要因分析を活用した健康寿命延伸プロジェクト  (2)担当課 草津未来研究所(UDCBK)、健康福祉政策課、健康増進課、スポーツ保健課 (滋賀県、長浜市、近江八幡市、草津市、甲賀市、湖南市、高島市、日野町、愛荘町による連携事業)  (3)計画期間 令和元年度～令和3年度(※草津市は令和2年度から事業連携)	【全体分】 136,819,000  【草津市分】 7,095,000	【交付金】 3,547,000 【補助率】 1/2	<p><b>【事業概要】</b> ・働き世代を中心とした食生活や運動習慣の改善、高齢者自身が健康を実感できないといった課題を解決するため、食生活および運動習慣の改善を県民が実践していくための取組、高齢者が健康を実感できる取組の推進、事業を県民みんなの取組に拡大し、事業効果を高めるとともに、自立させていくための取組を行う。</p> <p>(1)食生活の改善を県民が実践していくための取組 (2)運動習慣の改善を県民が実践していくための取組 (3)高齢者が健康を実感できる取組の推進 (4)県民みんなで「健康しが」に取り組むための仕組みの構築</p> <p><b>【事業内容】</b> ・産学公民連携による社会活動推進参加促進事業 ・草津川跡地公園健康イベント開催事業 ・健康都市くさつ啓発事業 ・食育推進事業 ・健康啓発推進事業 ・健康都市くさつランフェスティバル開催補助事業</p>	<p><b>【地域の支え合い推進プロジェクト】</b> ・地域住民が地域課題を「我が事」と捉え、お互いを大切に、支え合い、絆をつむぎながら、誰もがいつまでも元気に活躍できる健幸を創造するまちをつくる。</p>	(1)健康寿命・男性(要介護度指標) 現状値:H30 80.43歳 ※草津市はR2より事業連携	R3 81.09歳							
						(2)健康寿命・女性(要介護度指標) 現状値:H30 84.38歳 ※草津市はR2より事業連携	R3 84.75歳							
						(3)事業参加県民数 現状値:H30 107,250人 ※草津市はR2より事業連携	R3 468,540人							
						(4)協働民間事業者数 現状値:H30 118者 ※草津市はR2より事業連携	R3 350者							
2	(1)事業名 健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト  (2)担当課 商工観光労政課(滋賀県、大津市、草津市、守山市、野洲市、米原市による連携事業)  (3)計画期間 令和3年度～令和5年度	【全体分】 104,710,000  【草津市分】 3,600,000	【交付金】 1,800,000 【補助率】 1/2	<p><b>【事業概要】</b> ・「ピワイチ」を健康でエコなニューツーリズムとしてブラッシュアップするとともに、サイクリングに興味のない方も含めた幅広い年代・様々な層に訴求できるサイクリングを県内の観光資源や公共交通などと組み合わせる展開し、ツアーガイドを中心とした民間事業者を担い手として、県内全域での経済効果につなげていくための取組を行う。</p> <p><b>【事業内容】</b> ・ピワイチ推進事業</p>	<p><b>【にぎわい・再生プロジェクト】</b> ・まちなかでは、にぎわいと魅力にあふれるまちづくりを進めるとともに、郊外部では、地域の産業・資源を活かした取組を推進するなど、地域らしさを大切にしたまちづくりを進める。また、まち全体に公共交通ネットワークを形成するなど、市内外から人が集い、行き交い、将来にわたり、利便性が高く快適に暮らし続けられる健幸を創造するまちをつくる。</p>	(1)健康でエコなマイクロツーリズムによる経済効果の増額等 現状値:R2 0円	R3 400,000,000円 R5 790,000,000円							
						(2)サイクルツーリズムの自転車利用に伴うCO2削減の増加量 現状値:R2 0t-CO2	R3 562t-CO2 R5 1,124t-CO2							
						(3)女性・ファミリー向けサイクリング体験イベント参加者の増加人数 現状値:R2 0人	R3 300人 R5 550人							

事業効果は、KPIの達成度に基づき、事業担当課が評価

事業がKPI達成に「有効であった」もしくは「有効とは言えなかった」のいずれかで評価

事業について、「評価できる点」もしくは「何が良くなかったのか」、「考えられる原因、改善策は何か」といった意見があれば記載

※令和4年度に草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催し、事業終了後の重要業績評価(KPI)の実績値等を報告するとともに、外部の視点による客観的な評価をいただく。

# 令和3年度地方創生関連交付金事業について(地方創生拠点整備交付金事業分)

## 1. 地方創生拠点整備交付金の活用

### <交付金の趣旨>

地方公共団体が進めている地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組を進めることを目的として創設されたもの。

### <対象事業>

地方公共団体において、それぞれの地方版総合戦略に位置付けられた(ないしは位置付けられる予定である)事業であって、未来への投資に重点を置きつつ、地方創生の深化に向けて、効果の発現が高い施設など。

## 2. 草津市における「地方創生拠点整備交付金」対象事業

No.	事業名 担当課 計画期間	令和3年度 予算額(円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における事 業の位置付け	重要業績評価指標 (KPI)		事業終了後の実績値		実績値を踏まえた事業の今後について		外部有識者からの評価	
						指標	目標値	実績値	事業効果	今後の方 針	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見
1	(1) 事業名 常盤学区における 地方創生拠点整備 プロジェクト  (2) 担当課 まちづくり協働課  (3) 計画期間 平成29年度～令和 3年度	172,000	—	<p><b>【事業概要】</b> ・地域のまちづくりの拠点である常盤まちづくりセンターの改築にあわせて、農業振興スペースを整備し、調理室・サロンを隣接させ、農業振興スペースを活用した農業振興や地域の農産物を活かしたコミュニティカフェの実施等、地域の特色を活かしたコミュニティビジネスの展開を推進する。</p> <p><b>【事業内容】</b> ・地方創生拠点整備事業（常盤まちづくりセンター） コミュニティビジネス実施に向けた先進地視察・講演会の実施</p>	<p>戦略目標 地域課題の解決が図られ、健康で安心して末永く暮らせる</p> <p>戦略プロジェクト 地域の現状・特性に応じた課題解決</p>	<p>(1) 地方創生拠点としての常盤まちづくりセンターでのコミュニティビジネスの実施による収入の増 現状値:H28 0円 実績値:R2 85,500円</p> <p>(2) 地方創生拠点としての常盤まちづくりセンターの利用者数の増に伴う施設利用料収入の増 現状値:H28 59,000円 実績値:R2 89,900円</p> <p>(3) 地方創生拠点の波及効果を含めた草津市の農業生産額の増 現状値: H28 2,590,000,000円 実績値: R2 3,090,000,000円</p>	<p>R3 500,000円 R3 500,000円</p> <p>R3 299,000円 R3 299,000円</p> <p>R3 2,610,000,000円 R3 2,610,000,000円</p>	<p>事業効果は、KPIの達成度に基づき、事業担当課が評価</p>	<p>事業がKPI達成に「有効であった」もしくは「有効とは言えなかった」のいずれかで評価</p> <p>事業について、「評価できる点」もしくは「何が良くなかったのか」、「考えられる原因、改善策は何か」といった意見があれば記載</p>	<p>※令和4年度に草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催し、事業終了後の重要業績評価(KPI)の実績値等を報告するとともに、外部の視点による客観的な評価をいただく。</p>			